平成３０年度　国立吉備青少年自然の家教育事業
「キビキビ通学合宿」

１．事業の目的（趣旨・ねらい）

家庭から離れた共同生活の中で、様々な生活体験活動を通して、「生きる力」の基盤となる豊かな人間性や人間関係能力を高めるとともに、基本的生活習慣の定着や規範意識の向上を図る。

２．事業の概要

（１）期日

Ａ日程：平成３１年２月１７日（日）日帰り
　　平成３１年２月１９日（火）～２３日（土）４泊５日
Ｂ日程：平成３１年２月２４日（日）日帰り
　　平成３１年２月２６日（火）～３月２日（土）４泊５日

（２）参加者

①　事業対象・人数
Ａ日程：吉備中央町内の小学３年生～６年生　２０人
対象校：上竹荘小学校、下竹荘小学校、豊野小学校、御北小学校
Ｂ日程：吉備中央町内の小学３年生～６年生　２０人
対象校：大和小学校、津賀小学校、円城小学校、吉川小学校、吉備高原小学校、のびのび小学校

②　参加人数
Ａ日程：　９人（上竹荘小学校１人、下竹荘小学校５人、豊野小学校２人、御北小学校１人）
Ｂ日程：２２人（大和小学校１０人、津賀小学校３人、円城小学校２人、吉川小学校３人、吉備高原小学校２人、のびのび小学校２人）

（３）企画・運営のポイント

①　２つの日程で開催することで、多くの参加希望者を受け入れられる体制にした。
②　例年、複数の職員が入れ替わりで対応していたが、参加者への環境の変化を最小限に抑え、安心して生活が送れるようにすることや情報共有によるヒューマンエラーを未然に防ぐため、職員を固定して対応した。
③　自然の家での活動内容や生活時間を固定させることで、参加者が主体となって時間を管理できるように工夫した。

３．活動の内容等

（１）日程

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
1日目					受付	入所式	オリエンテーション	昼食	キビキビ交流タイム（みんなであそぼう）	班会	帰宅						

2日目													キビキビ宿題タイム	決意式	タベのつどい	夕食	キビキビ宿題タイム	キビキビ交流タイム	入浴	班会	就寝
3日目	起床・洗面・清掃	朝の会	朝食	登校	学校							キビキビ宿題タイム			タベのつどい	夕食	キビキビ交流タイム（お楽しみ）		入浴	班会	就寝
4日目	起床・洗面・清掃	朝の会	朝食	登校	学校							キビキビ宿題タイム			タベのつどい	夕食	キビキビ交流タイム（お楽しみ）		入浴	班会	就寝
5日目	起床・洗面・清掃	朝の会	朝食	登校	学校							キビキビ宿題タイム			タベのつどい	夕食	キビキビ交流タイム（夜のつどい）		入浴	班会	就寝
6日目	起床・洗面	清掃			朝のつどい	朝食	片付け	点検	キビキビ交流タイム（思い出づくり）		退所式	解散									

（２）活動の状況

【A日程：入所式】

【B日程：入所式】

【A日程：オリエンテーション】

【B日程：オリエンテーション】

【A日程：キビキビ交流タイム①】

【B日程：キビキビ交流タイム①】

【A日程：キビキビ宿題タイム】

【B日程：キビキビ宿題タイム】

【A日程：キビキビ交流タイム②】

【B日程：キビキビ交流タイム②】

【A日程：キビキビ交流タイム③】

【B日程：キビキビ交流タイム③】

４．成果・課題

（１）満足度

Ａ日程　満足：１００％

Ｂ日程　満足：１００％

（２）参加者の声

①　Ａ日程：

ア．自然の家では、決まった時間に宿題をすることになっているので、集中して取り組めました。

イ．「早寝早起き朝ごはん」で規則正しい生活が送れました。

ウ．他の学校の人とのかかわりができてよかったです。

②　Ｂ日程

ア．班の人が、勉強で分からないところを優しく教えてくれたので、とても嬉しかったです。

イ．班遊びについて話し合いをしたとき、皆で考えることができたので良かったです。

ウ．普段、洗濯などは親にしてもらっているので、自分のことを自分でしたとき、親にしてもらってありがたいなと思いました。

（３）成果

①　日ごとに生活にも慣れ、時間に余裕をもって行動することができた。また、できた余裕の時間で清掃をするなど、周囲に目を向けた自主的な行動につなげることができるようになった。

②　自然の家を一つの家として安心して過ごしてもらうため、班長等の役割は設けず、負荷をかけないように配慮したが、整列時に上級生が下級生に声掛けするなど、自然にリーダーシップを発揮する場面がみられるようになった。

③　身の回りの整理整頓を始め、洗濯なども自分で行うことで、普段の生活を省みるきっかけになった。

（４）今後の課題

①　１日目の日帰りでの参加後、宿泊生活が始まるまでに心の整理ができる時間があったことはよかったが、長期宿泊によって生活習慣の改善などの効果が高まる内容もあるため、今後、日程について検討していくことが求められる。

②　運営上、班付きボランティアと全体を見ているサポーターがいたことは、大変良かった。しかし、長期の日数に渡って宿泊することを考えると、ボランティアの人数を確保できるのかという課題がある。

担当：企画指導専門職付　谷山　典